

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- キャビネットが落下・転倒してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
 - ・棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)
 - ・石こうボードなどで補強材(躯体)が見えない場合は、工務店さまに補強材位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどでねじ止め位置に補強材の中心があることを確認してください。
 - ・リフォームなどの場合、補強材(躯体)位置が石こうボードで確認できない場合は、石こうボードなどをはがして補強材位置を確認してください。
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
 - ・必ず棧木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。

▲注意

- ウォールキャビネット以外は、壁面に吊下げて設置したり、上がり框に一部のせた形で設置しないでください。キャビネットの転倒・落下の原因となります。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。
- 組立ての際は、接合部および溝部に必ず付属の接着剤を充てんし、1日以上養生してください。充てんされていないと接合部が外れて、キャビネットの落下の原因となります。
- 扉をキャビネットに取付ける際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

■取付け上のおお願い

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、扉の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱燈付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

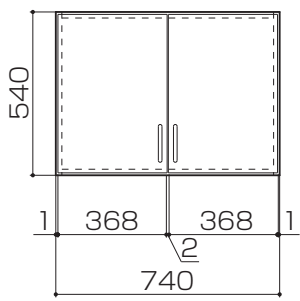
■部材・部品一覧表

部材・部品名(姿図)	キャビネット梱包																扉梱包			
	部 材							部 品									部 材			
	①側板	②天板・地板	③背板	④固定棚	⑤カウター	⑥前台輪	⑦棚板	棚タポ	φ3.5×27(黒) 連結ねじ	φ3.8×60 躯体取付けねじ	接着剤	M4×25) トラス小ねじ	アーチ型把手セット(把手)	丁番座	丁番カップ	戸当りセット(戸当りナベタッピンねじ 一種φ3.5×16)	穴かくしキャップ	扉/左右兼用	扉/左吊り元	扉/右吊り元
ウオールユニット	2	2	1	—	—	—	—	—	8	4	1	2	4	4	—	—	—	—	1	1
ベースユニット	2	1	1	—	1	1	4	16	10	3	1	2	4	4	1	—	—	—	1	1
445ツールユニット	2	2	1	1	—	1	8	36	1	3	1	1	3	3	—	—	6	1	—	—
740ツールユニット	2	2	1	1	—	1	8	36	13	5	1	2	6	6	—	—	—	—	1	1

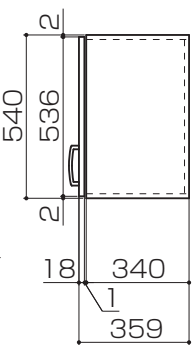
■寸法図

【ウォールユニット／740W】

●正面図

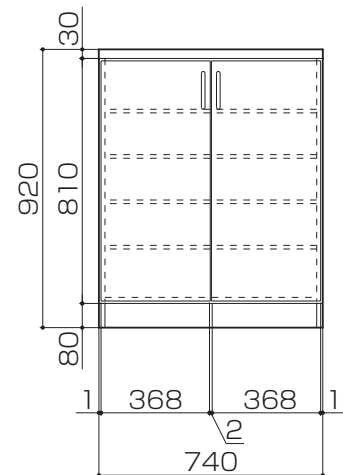


●側面図

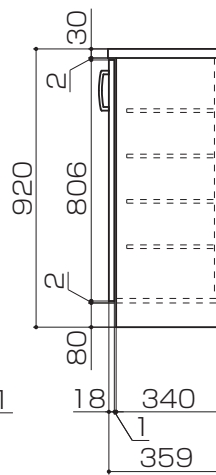


【ベースユニット／740B】

●正面図

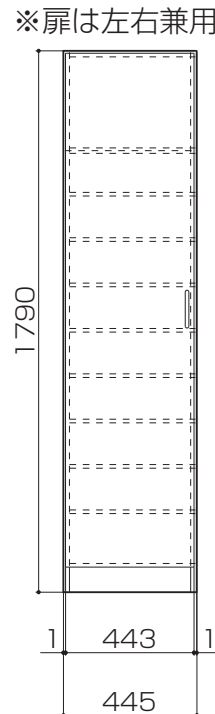


●側面図



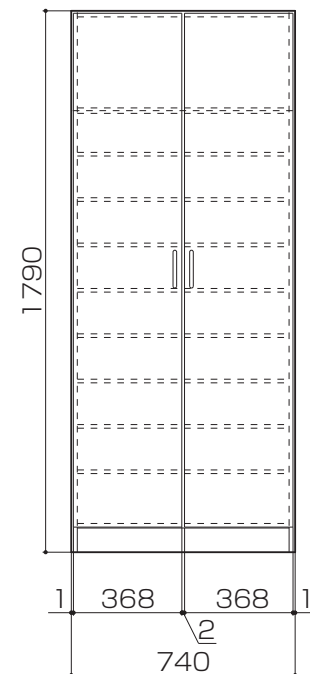
【トールユニット／445T／740T】

●正面図 (445T)



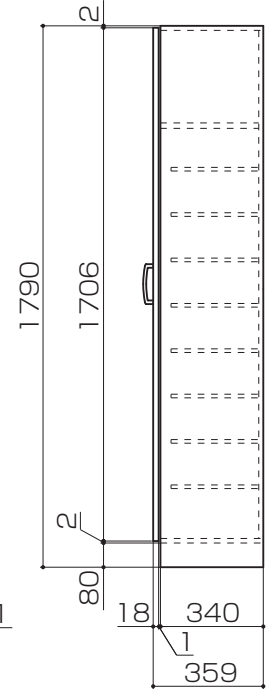
※扉は左右兼用です。

●正面図 (740T)



※扉は左右兼用です。

●側面図 (445T／740T)



■据付け前の準備

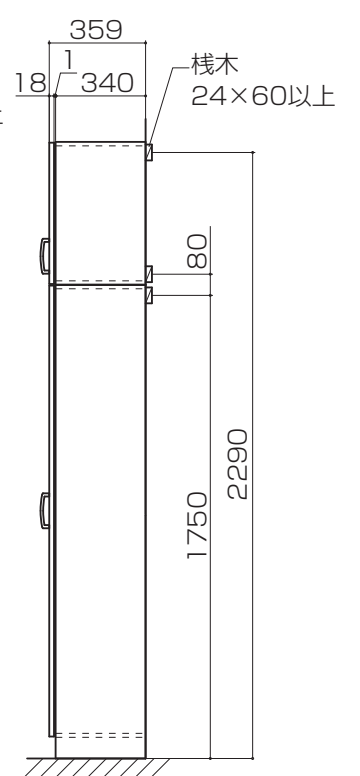
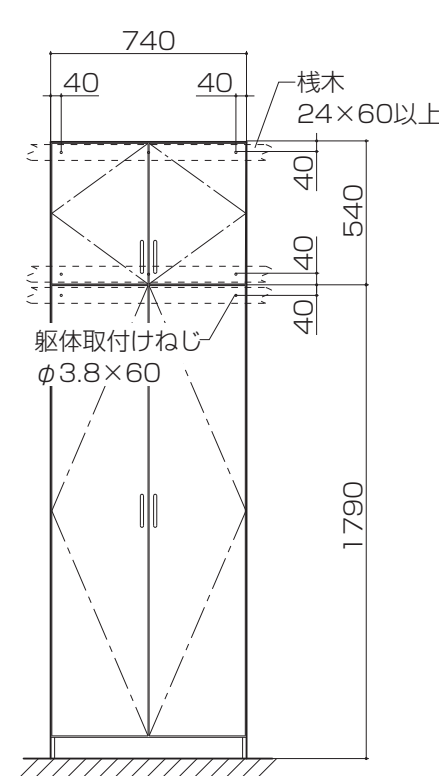
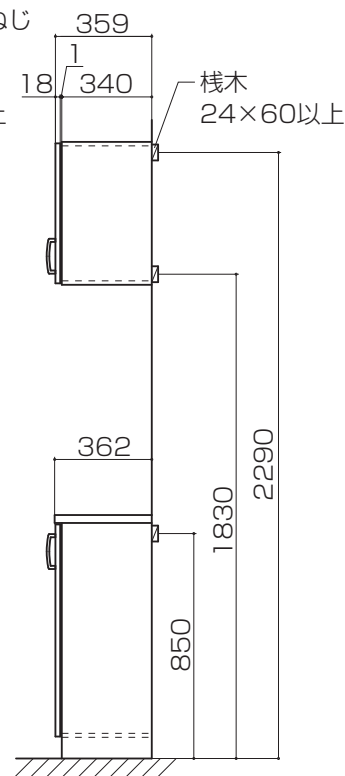
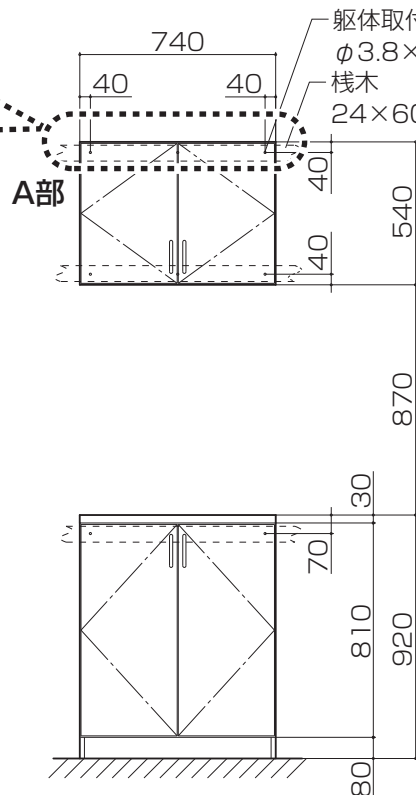
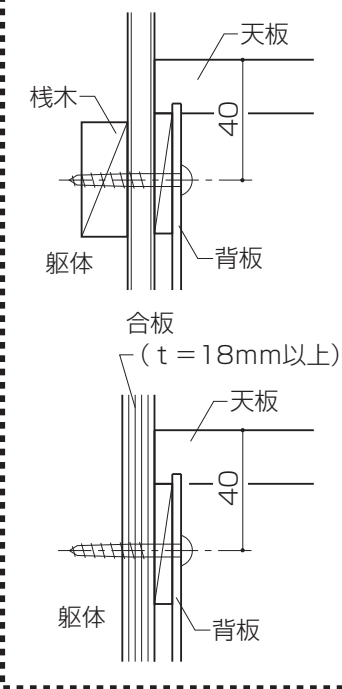
1 棧木の設置位置確認

●据付け場所と上がり框の位置を確認し、所定の壁面（躯体）に棧木を設置します。（A部詳細図参照）

■ウォール+ベースキャビネット

■ウォール+トールキャビネット

■A部詳細図

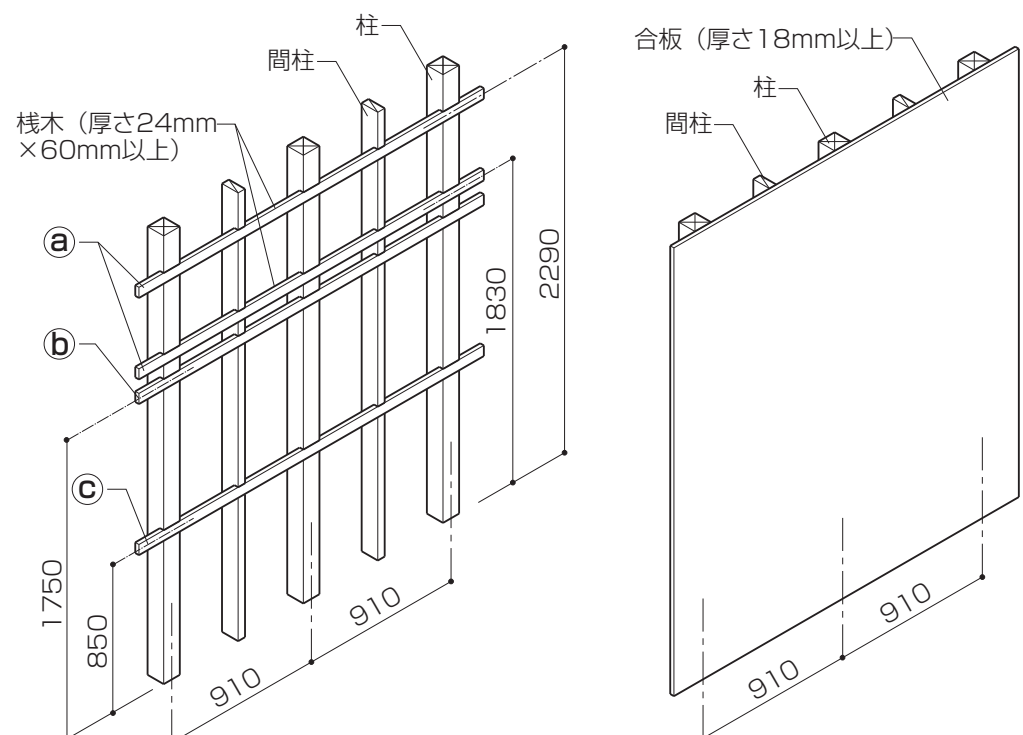


2 棧木の固定

▲警告

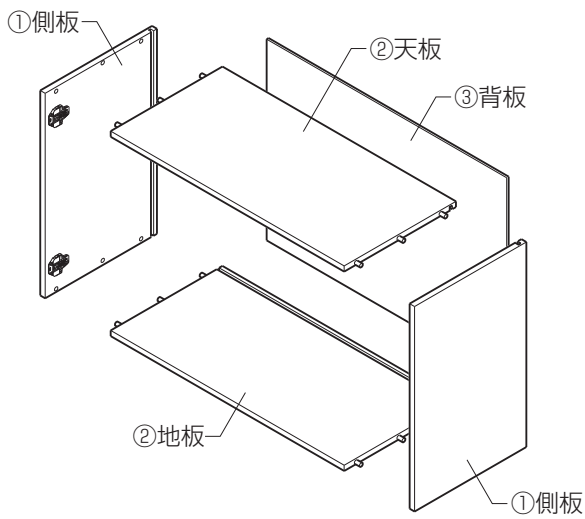
- 指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。（厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。）

①	ウォールキャビネット取付け用
②	トールキャビネット取付け用
③	ベースキャビネット取付け用

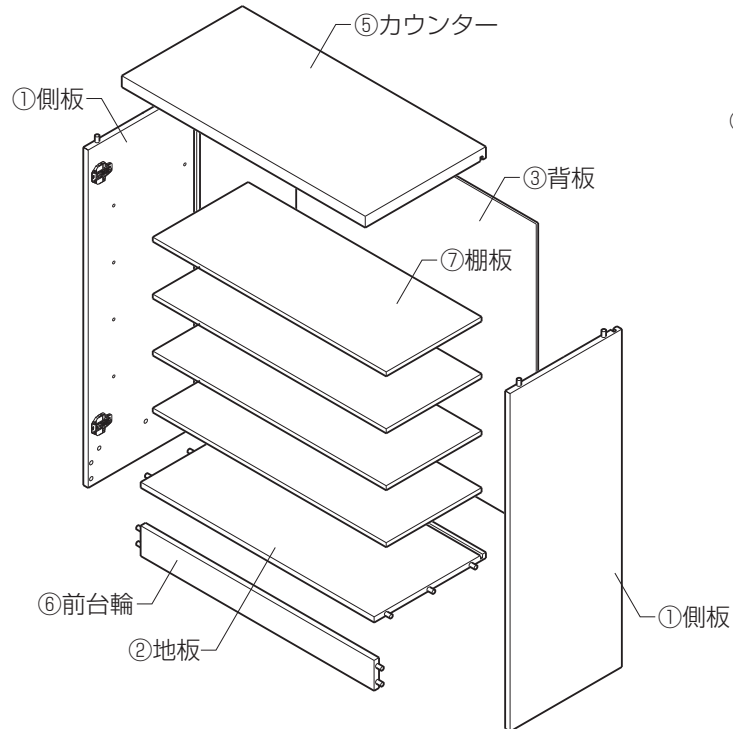


各部名称図

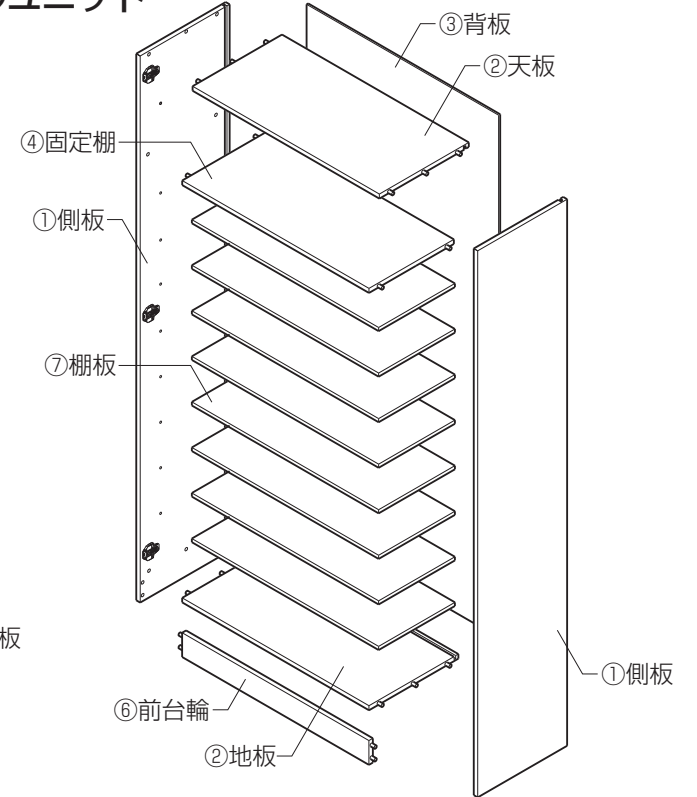
■ウォールユニット



■ベースユニット



■トールユニット



■組立て順序

1 ウォールキャビネット・ベースキャビネット・トールキャビネット共通

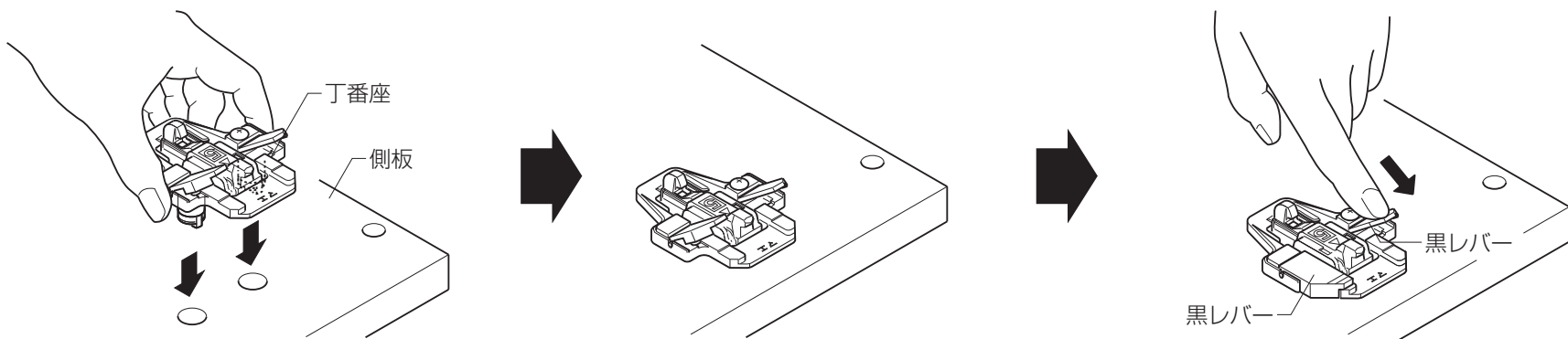
※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。

※445Tの場合左右勝手は、丁番座の取付け位置により選択できます。戸先側の側板の丁番座取付け穴は、穴かくしキャップを取付けてください。

①側板に丁番座を取付けます。

②丁番座を側板の加工穴に差込みます。

③黒レバーをおろして丁番座を固定します。

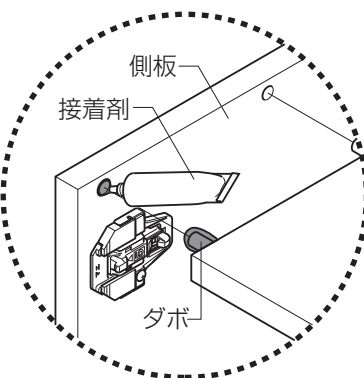


2 キャビネットの組立て

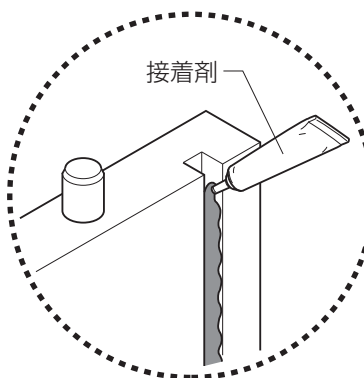
▲注意

●接合部および溝部には必ず付属の接着剤を充てんし、1日以上養生してください。キャビネットの強度が不足、キャビネット部材の落下および、中に入れている物の落下の原因となります。

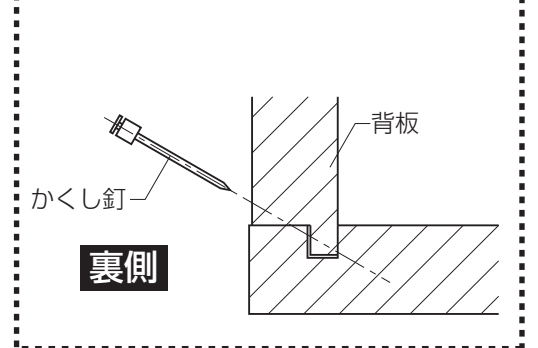
■B部詳細図



■C部詳細図



■D部詳細図



【ウォールキャビネット】

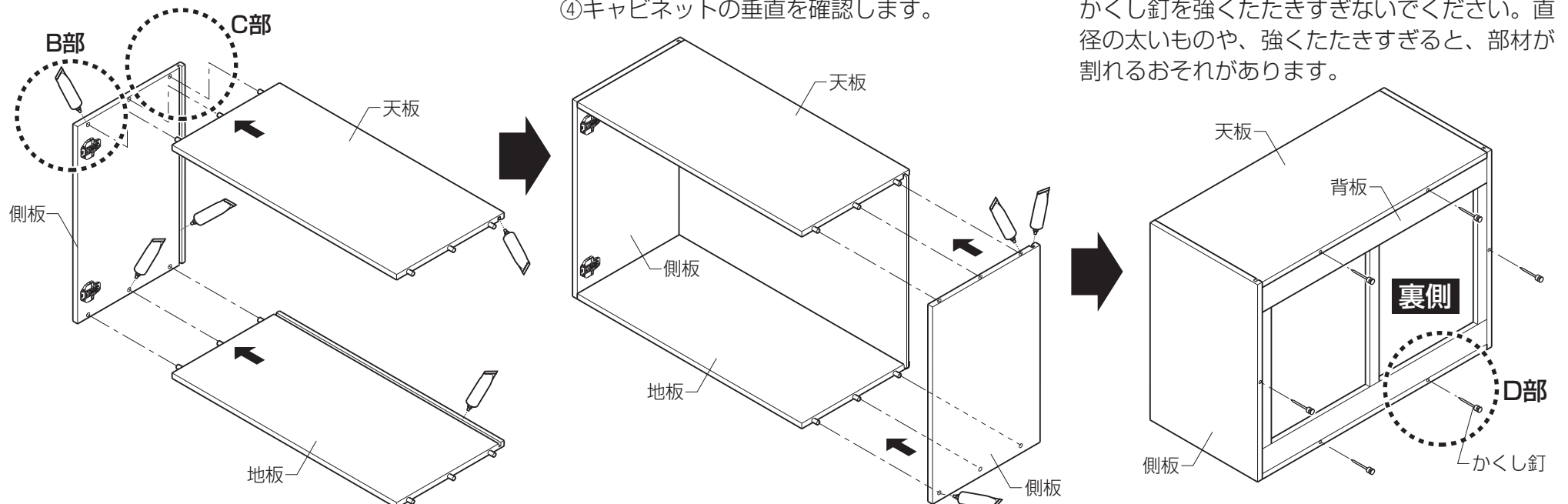
①片側の側板に天板・地板をはめ込みます。

②側板および天板・地板の溝部に接着剤を充てんし、背板を差込みます。

③もう一方の側板をはめ込みます。

④キャビネットの垂直を確認します。

⑤背板側からかくし釘（現場手配）などで背板を固定し、接着剤が乾くまで1日以上養生します。
※かくし釘は、φ1.0mm程度のものを使用し、かくし釘を強くたたきすぎないでください。直径の太いものや、強くたたきすぎると、部材が割れるおそれがあります。



【ベースキャビネット】

①片側の側板に、地板および前台輪をはめ込みます。

②もう一方の側板をはめ込みます。

③側板および地板の溝部に接着剤を充てんし、背板を差込みます。

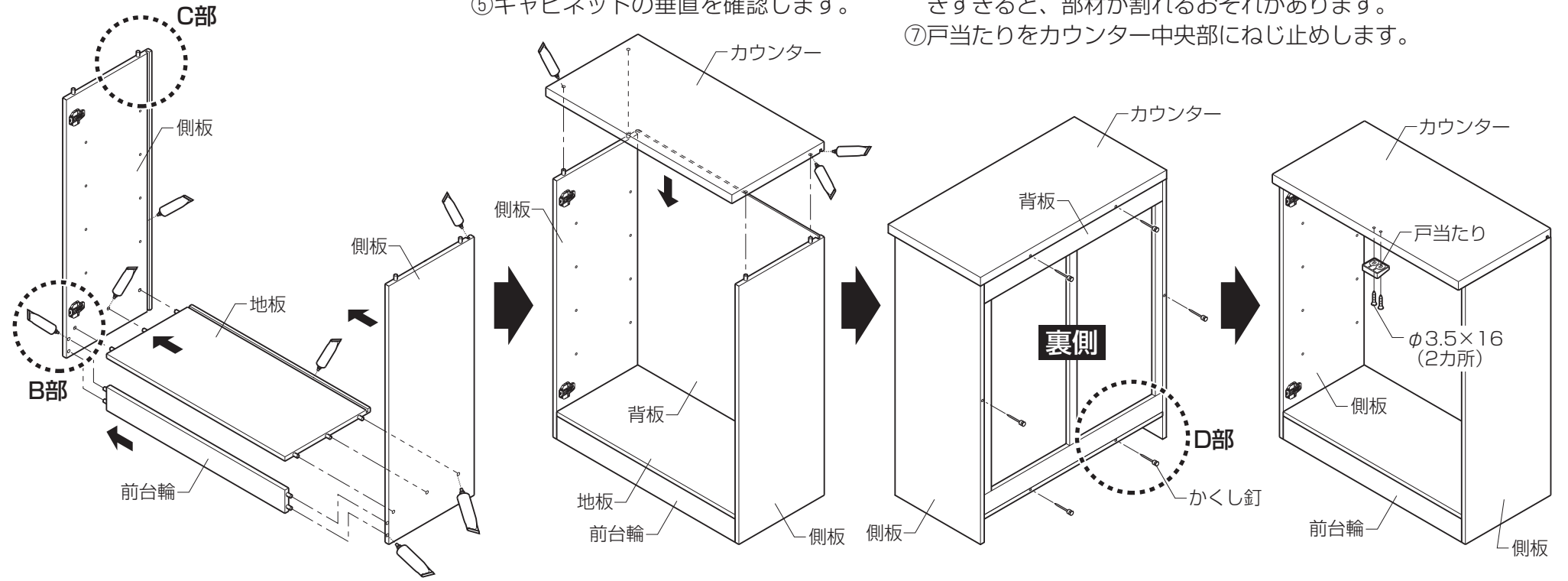
④カウンターをはめ込みます。

⑤キャビネットの垂直を確認します。

⑥背板側からかくし釘（現場手配）などで背板を固定し、接着剤が乾くまで1日以上養生します。

※かくし釘は、 $\phi 1.0\text{mm}$ 程度のものを使用し、かくし釘を強くたたきすぎないでください。直径の太いものや、強くたたきすぎると、部材が割れるおそれがあります。

⑦戸当たりをカウンター中央部にねじ止めします。



【トールキャビネット】

①片側の側板に固定棚および天板・地板をはめ込みます。

②前台輪を側板にはめ込みます。

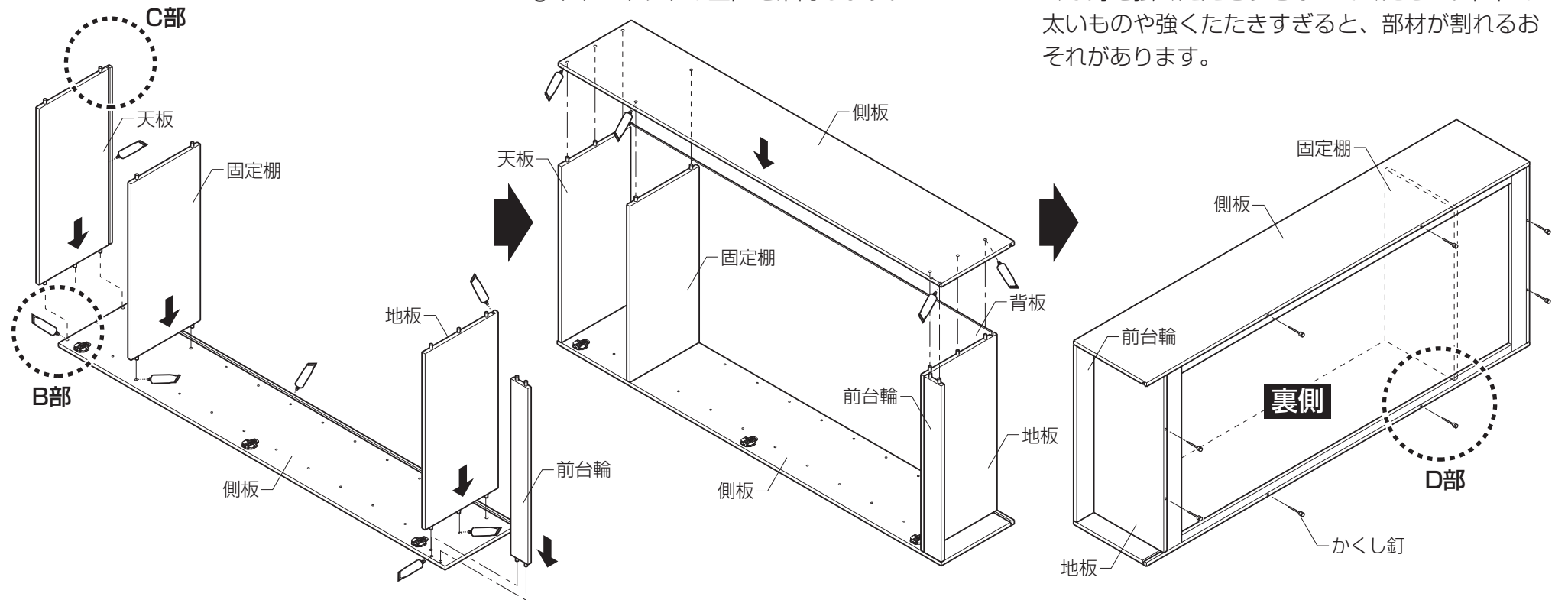
③側板および天板・地板の溝部に接着剤を充てんし、背板を差込みます。

④もう一方の側板をはめ込みます。

⑤キャビネットの垂直を確認します。

⑥背板側からかくし釘（現場手配）などで背板を固定し、接着剤が乾くまで1日以上養生します。

※かくし釘は、 $\phi 1.0\text{mm}$ 程度のものを使用し、かくし釘を強くたたきすぎないでください。直径の太いものや強くたたきすぎると、部材が割れるおそれがあります。



■取付け順序

1 壁面への固定

【ウォールキャビネット】

●水準器・下げ振りキャビネットの水平・垂直を調整しながら、躯体取付けねじ $\phi 3.8 \times 60$ で壁面（栈木）に固定してください。

▲警告

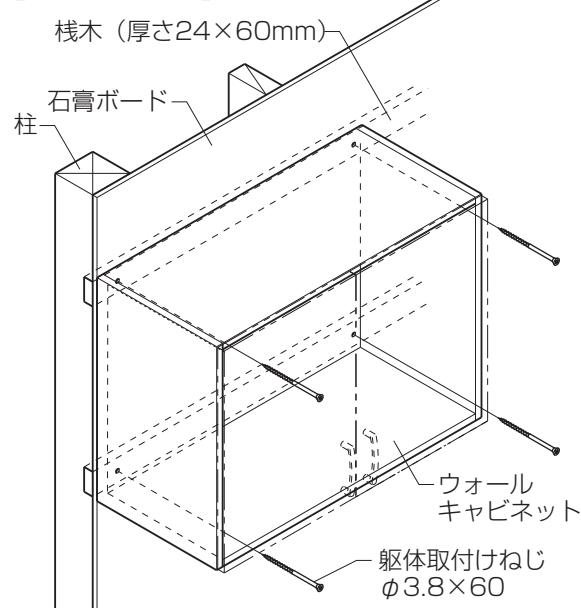
- 必ず指定の躯体取付けねじ $\phi 3.8 \times 60$ を指定の本数使用してください。
- 必ず栈木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。

▲注意

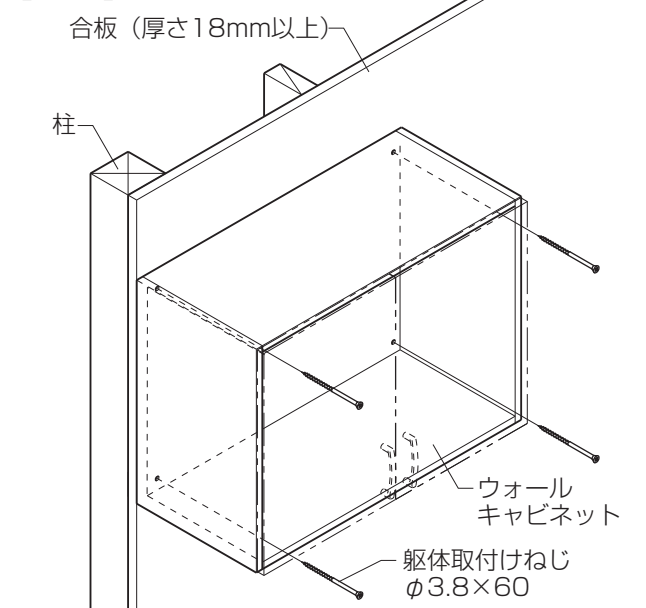
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。

■躯体別取付け方法

【石膏ボード】



【合板】



【ベースキャビネット・ツールキャビネット】

- 水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら、躯体取付けねじφ3.8×60で壁面（桧木）に固定してください。
- ※キャビネットを土間に直置きする場合は、パッキンなどで必ず防水処理をしてください。

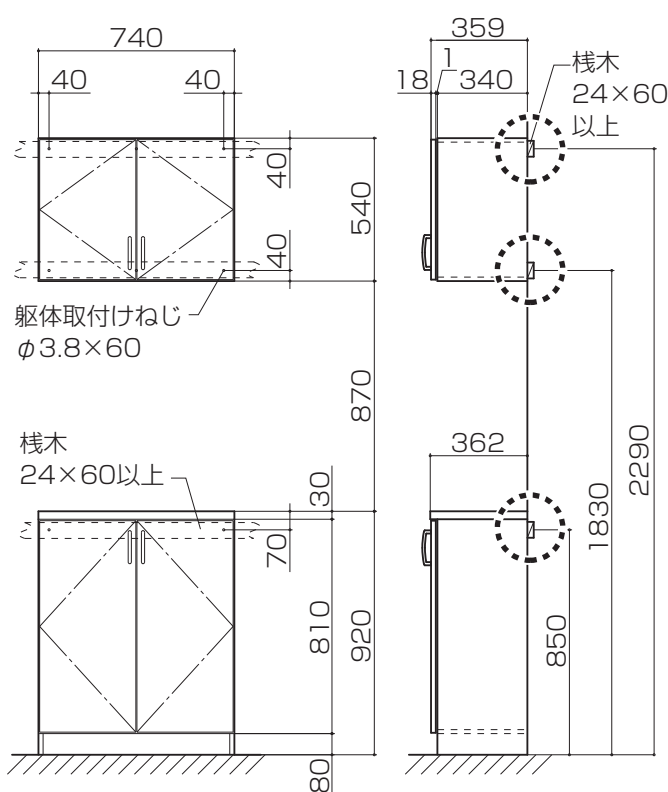
▲警告

- 必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
- 必ず桧木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。

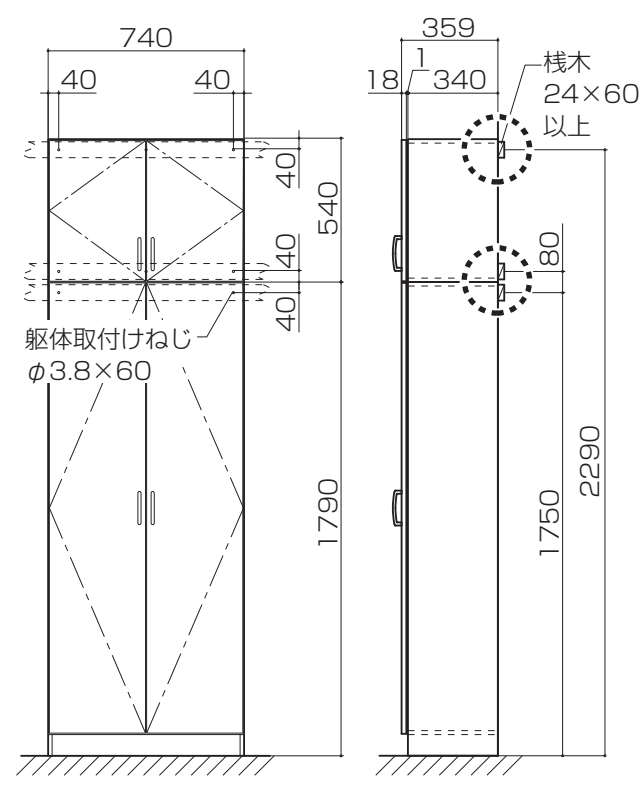
▲注意

- ウォールキャビネット以外は、壁面に吊下げて設置したり、上がり框に一部のせた形で設置しないでください。キャビネットの転倒・落下の原因となります。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。

■ウォール+ベースキャビネット



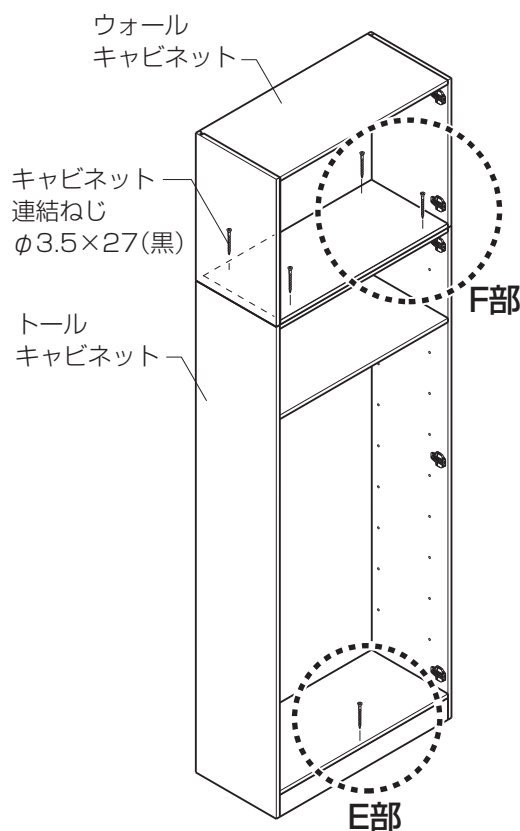
■ウォール+ツールキャビネット



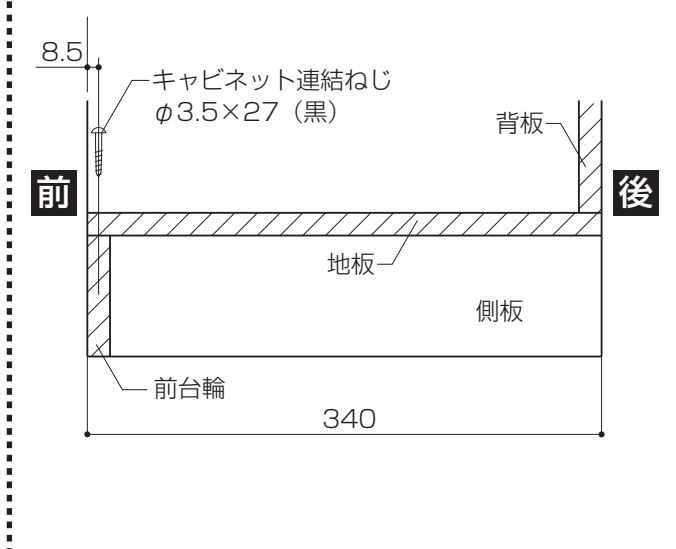
2 キャビネットの連結

【前台輪+各キャビネット連結】

- キャビネットの内側から前台輪にキャビネット連結ねじφ3.5×27（黒）で連結します。



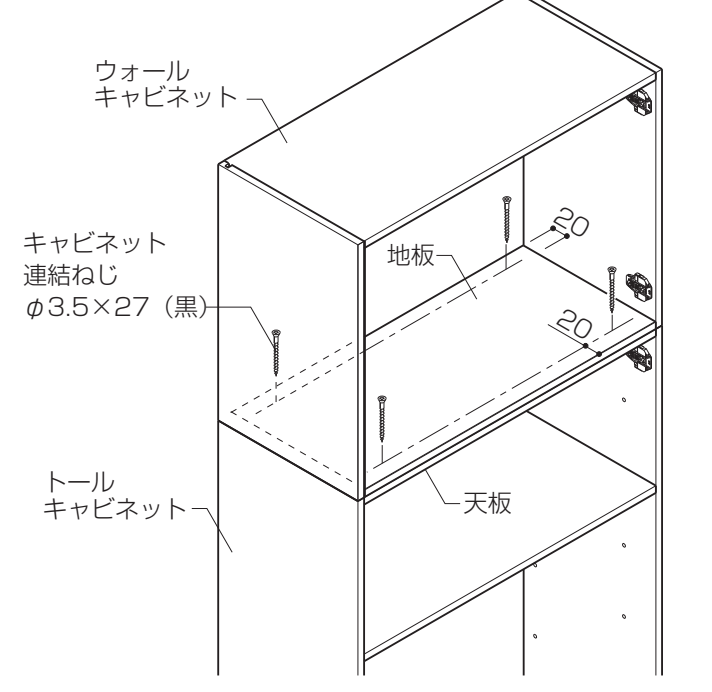
■E部詳細図



【ウォールキャビネット+ツールキャビネット連結】

- ウォールキャビネットの地板からツールキャビネットの天板へ（上から下へ）キャビネット連結ねじφ3.5×27（黒）で連結します。

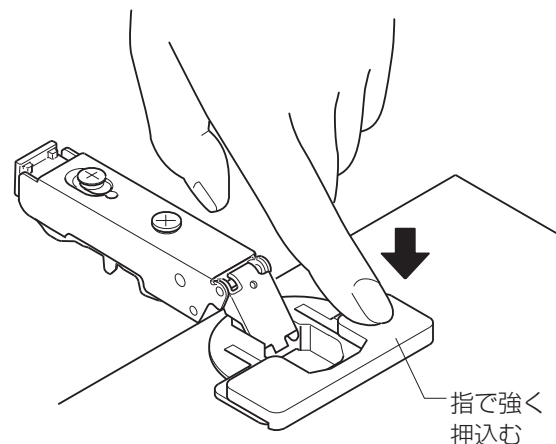
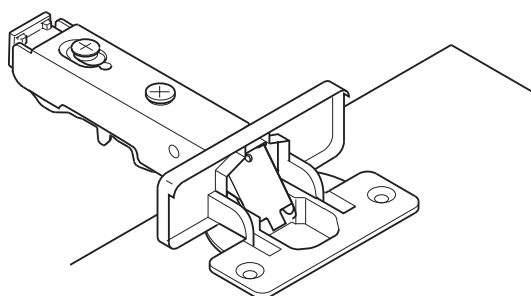
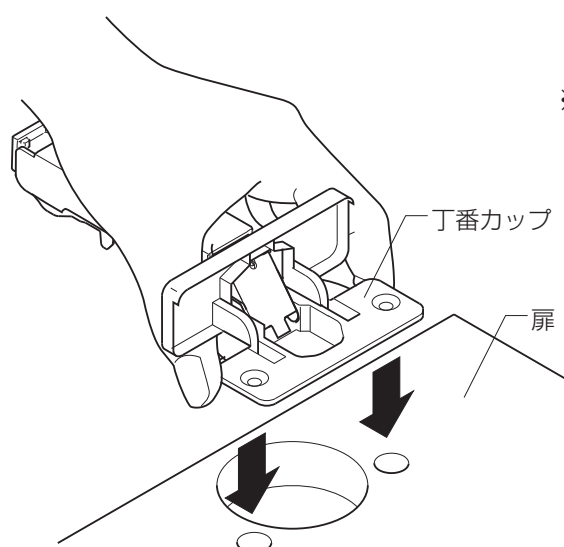
■F部詳細図



3 扉の取付け

1) 丁番カップの取付け

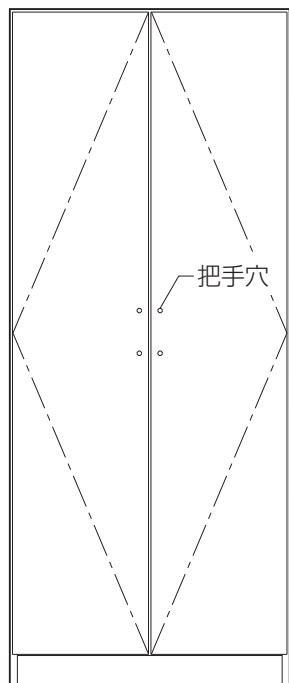
- ①丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。
※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。
- ②扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。



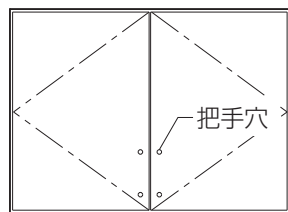
2) 扉の左右勝手の確認

※ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手穴が上になります。
 ※トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。

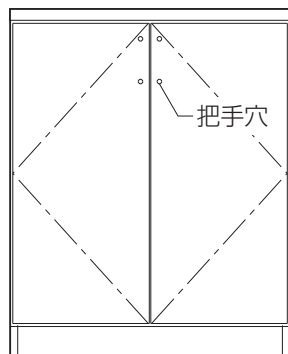
■トールキャビネット



■ウォールキャビネット

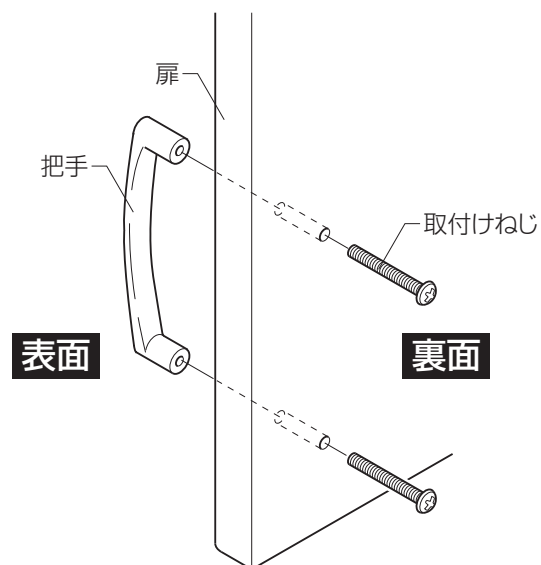


■トールキャビネット



3) 把手の取付け

※把手セットはキャビネットに同梱されています。

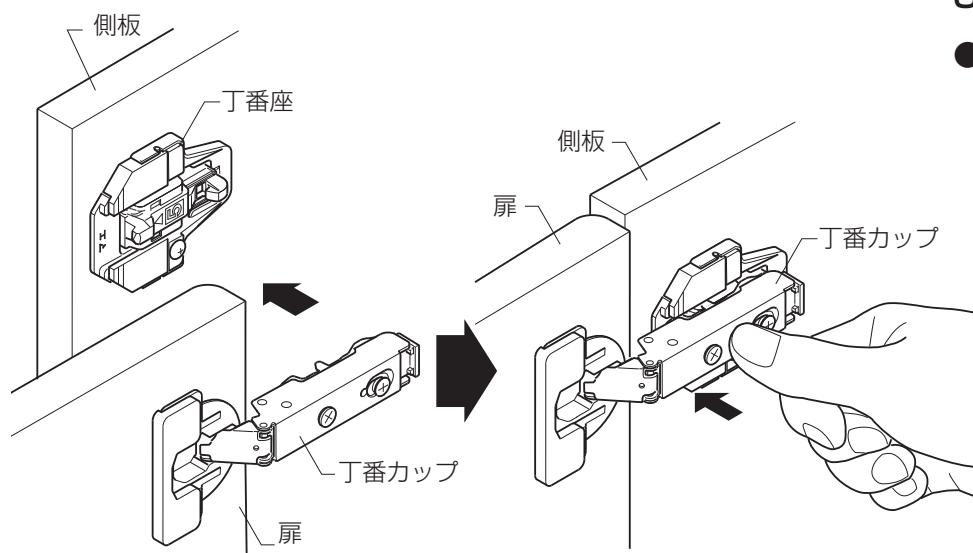


4) 扉の取付け方

※扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付いているか必ず確認してください。

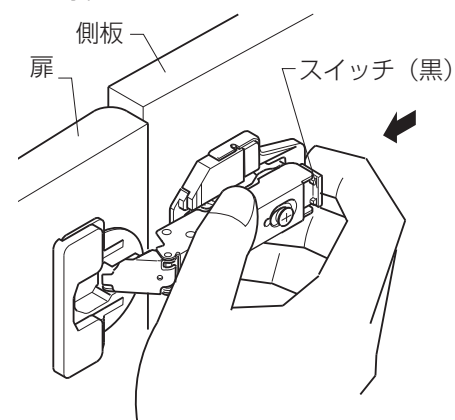
▲注意

●扉をキャビネットに取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。



5) 扉の取外し方

●扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



■扉の調整

前後調整	左右調整	上下調整
<p>調整範囲 (3mm: 前方2mm・後方1mm)</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締直してください。</p>	<p>調整範囲 (±2mm)</p> <p>※調整範囲をこえてねじ込まないでください。</p>	<p>調整範囲 (±1.5mm)</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締直してください。</p>